

受信機オーディオ出力レベルの設定

受信機背面スイッチによりライン出力、又はマイク出力のオーディオ出力レベル切替が可能です。接続機器に合わせて適切な出力を選択してください。

また、受信機前面のボタン・ツマミにて出力レベルの調整が可能です。

XSW 1 : VOL -, VOL + ボタンにて出力レベル調整

XSW 2 : VOLUME ツマミにて出力レベル調整

安全に使用するための注意事項

i ノイズを防ぐために受信機と送信機、送信機同士の距離を保って使用してください。

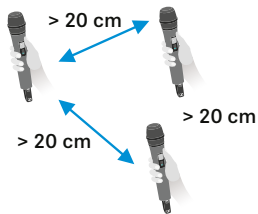
受信機と送信機が近い距離に置かれている場合、又は送信機同士が近い距離に置かれていると、電波干渉によりオーディオ出力にノイズが発生する場合があります。特に複数台使用の際はノイズ発生リスクが高くなるため、下記の距離を保って使用してください。

- ・ 受信機と送信機の距離は 5 m 以上離して使用してください。
- ・ 送信機同士の距離は 20 cm 以上離して使用してください。

受信機と送信機の距離



送信機同士の距離



XS Wirelessシリーズ

使用方法と注意事項

i 受信機背面のスケルチ (Squelch) ツマミは初期値が最小に設定されています。下記設定手順、スケルチの設定項目を参照し必要に応じて調整を行ってください。

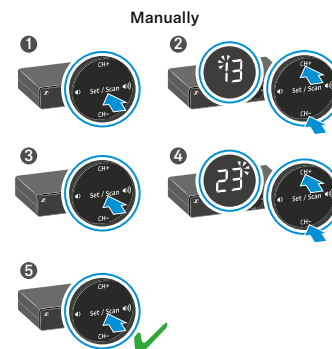
使用手順

- ▷ 送信機の電源をオフの状態、受信機を起動します。
- ▷ 受信機のプリセットバンク (1 ~ 8)、チャンネル (1 ~ 7) を決定します。

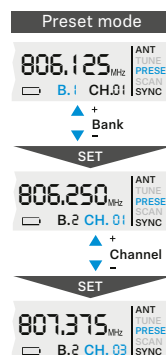
XSW 1 : SET ボタンを押し、点滅状態のプリセットバンクを CH+/- ボタンにて選択し SET ボタン
⇒点滅状態のチャンネルを CH+/- ボタンにて選択し SET ボタン
※既にチャンネルが使用されている場合、アンテナアイコンが点灯します。
アンテナアイコンの点灯していないチャンネルを選択してください。

XSW 2 : 上下ボタンで PRESET メニューを選択し SET ボタン
⇒点滅状態のプリセットバンクを上下ボタンにて選択し SET ボタン
⇒点滅状態のチャンネルを上下ボタンにて選択し SET ボタン
※既にチャンネルが使用されている場合、RF 受信メーターが振れています。
RF 受信メーターの振れていないチャンネルを選択してください。

XSW 1 CH 設定



XSW 2 CH 設定



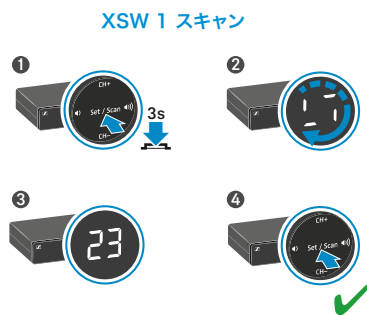


▷ 送信機を起動し Sync ボタンを押し続けると、受信機の Sync 表示が点滅します。Sync 表示が点滅している状態で受信機の Sync ボタンを押すと、送信機のチャンネルが設定されます。

※ 受信機の Sync 表示が点滅しない場合は受信機フロントパネルが障害物で覆われていないか、送信機が受信機から離れていないか確認してください。

3 台以上を同時使用する場合

最良の結果を得るために、すべてのユニットを同じプリセットバンクグループに設定してください。また、送信機と受信機の距離を 5m 以上、送信機同士の距離を 20cm 以上離して使用してください。

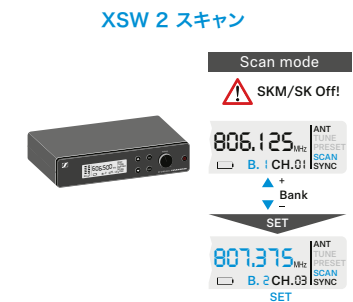


周波数スキャンを使用した設定方法

▷ 送信機の電源をオフの状態で、受信機を起動します。
▷ 1 台目の受信機のスキャンを行います。

XSW 1 : SET/SCAN ボタンを 3 秒間押し続けると、スキャンを行い候補のチャンネルが点滅表示されます。

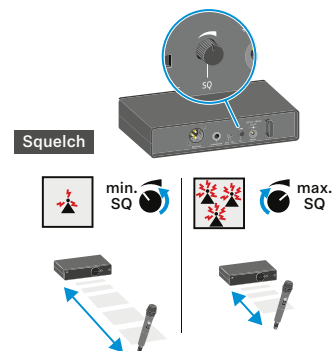
XSW 2 : 上下ボタンで SCAN メニューを選択し SET ボタン
⇒スキャン開始のプリセットバンクを選択し SET ボタン
⇒スキャンを行い候補のチャンネルが点滅表示されます。



▷ SET ボタンを押し、点滅している候補のチャンネルを確定します。
▷ 送信機を起動し Sync ボタンを押し続けると、受信機の Sync 表示が点滅します。Sync 表示が点滅している状態で受信機 Sync ボタンを押すと送信機のチャンネルが設定されます。

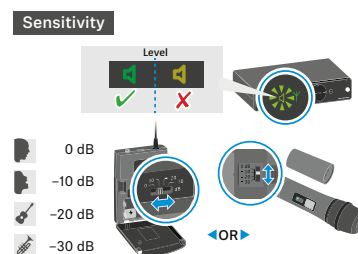
▷ 設定済の送信機は受信機より離れた場所に置いてください。
▷ 設定済の送信機は電源オンの状態で、2 台目以降も同じ手順で受信機スキャン～送信機 SYNC を行います。

※ スキャンにて空き周波数が表示されない場合：
受信機背面のスケルチツマミを変更し（例：ツマミ位置 12 時や 3 時など）、再度スキャンを行ってください。



スケルチの設定

受信機背面のスケルチ (Squelch) ツマミは、時計回りに回することで送信機のアクティングエリアが狭くなる代わりに、干渉電波からの影響を減少させます。また、スキャン機能では判定スレッショルド (しきい値) が上がり、候補チャンネルの数が増加します。干渉電波のいない環境では、反時計回りに回することでアクティングエリアが広がります。



送信機感度の設定

送信機では 4 段階の感度調整が可能です。下記を参考に適切な感度調整を行ってください。

0 dB : ボーカル
-10 dB : ラウドボーカル
-20 dB : インストルメント
-30 dB : プラス